



いおうとう あざ みなみ いおうとう  
小笠原シンポジウム「東京都 小笠原村 硫黄島 字 南硫黄島」  
世界自然遺産候補地「南硫黄島」の自然環境調査結果の公表！

～新種発見！ 調査隊が見たものは！～

## 1 目的

昨年6月、東京都は、小笠原諸島の世界自然遺産登録に向け、遺産としての価値を証明するため、東京(竹芝)から南へ1,300km離れた南硫黄島の自然環境調査を25年ぶりに首都大学東京と連携して実施しました。世界にも類を見ない今なお手付かずの自然が残っている“絶海の孤島”で調査隊が見たもの感じたものをみなさまにお伝えします。

## 2 内容

- (1)日時 平成20年6月1日(日) 10:00～17:00
- (2)場所 都庁都民ホール (都議会議事堂 1階)
- (3)タイトル 「東京都小笠原村硫黄島字南硫黄島」
- (4)プログラム

午前(10:00～11:30頃)

10:00 東京都挨拶

10:05 調査隊長挨拶

10:10 特別映像放映

(絶海の孤島、探検隊が見たものは！)

10:40 南硫黄島でのサバイバル生活

11:20 外来種を持ち込まない工夫

午後(13:00～17:00頃)

13:00 南硫黄島の自然の素晴らしさの紹介

植物 (首都大学東京 加藤英寿氏ほか)

地質 (産業技術総合研究所 中野 俊氏)

鳥獣類 (森林総合研究所 川上和人氏)

昆虫類 (神奈川県立生命の星・地球博物館 荻部治紀氏)

陸産貝類 (東北大学 千葉 聡氏)

海洋生物 (小笠原自然文化研究所 佐々木哲朗氏)

16:30 総合討論

(世界自然遺産登録に向けて)

入場無料

定員280名

当日直接上記会場へ

隣接する都政ギャラリー(都議会議事堂)で  
パネル展示も同時開催！



南硫黄島(全景)



タコノキの実を食べる  
オガサワラオオコウモリ

### 【問い合わせ先】

環境局自然環境部緑環境課

電話:都庁内線42-680・42-691

直通 03-5388-3538

首都大学東京 理工学研究科

電話:042-677-2423・2584

### 3 シンポジウムの見所

- (1) 絶滅危惧種(クrouミツバメ等)の貴重な生態映像を放映
- (2) サバイバルな調査の秘話を紹介
  - ・移入種を持ち込まないための綿密な検疫を実施
  - ・父島経由で43時間かけて向かい、さらに沖合いに漁船を停泊させ、調査隊全員が泳いで上陸
  - ・皇居の広さに東京タワー3個分の高さ、平均斜度45度の岩壁を登山しながら調査
- (3) 新種の発見など、25年ぶりの調査で新たにわかった南硫黄島の自然の姿を各研究者が報告



登山状況



トウガタノミガイ属の新種



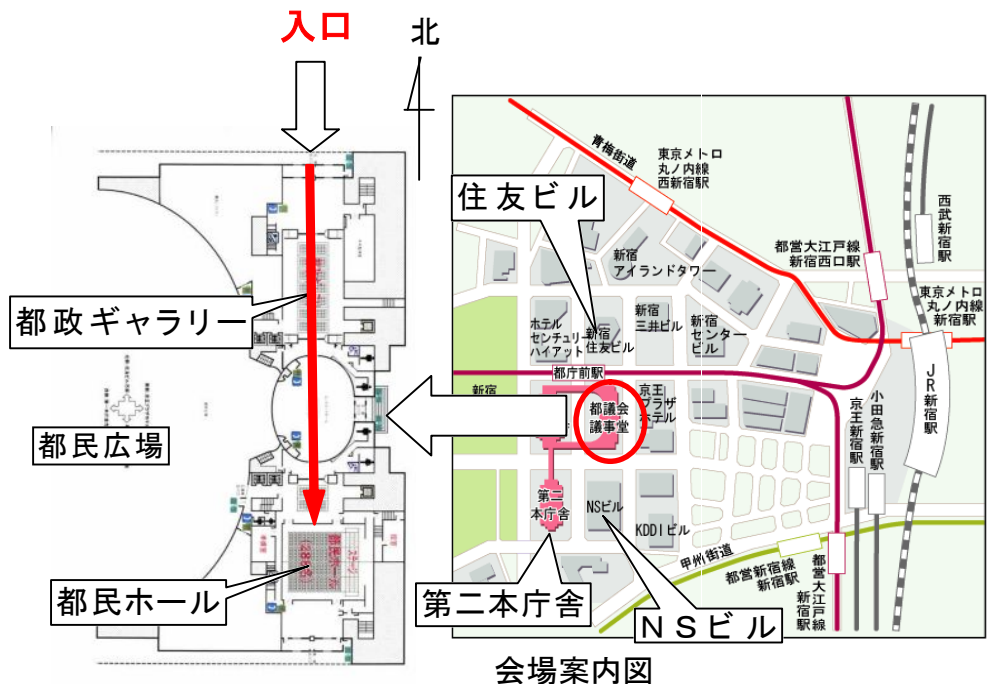
キャンプ状況

#### 【会場案内】

都民ホール  
(都議会議事堂 1階)

新宿区西新宿2-8-1

都民ホールへは北側(住友ビル側)からのみ、入場可能です。都政ギャラリーを通過して入ります。



都議会議事堂詳細図